

長田野工業団地立地企業

新入社員紹介

社会人になって



SECカーボン株式会社

技術開発部 生産技術グループ 渡邊 謙吾

私は大学院修士課程を修了後、SECカーボン株式会社に入社しました。弊社では鉄やアルミニウムを製錬する際に用いられる人造黒鉛電極やカソードブロック等を製造しており、世界の金属産業を支えています。その中で私はより良い製品を作るための製品設計に携わっています。



カーボンに関する知見のなかった入社直後は、社内でも用いられている単語すらわからなかったうえに全製品の全工程について知見を得なければならず、その知識量の膨大さ故に戸惑っていましたが、先輩方の丁寧な指導のおかげで着実に知識を蓄えることができ、今では少しずつ仕事も任せられるようになりました。また、より良い製品を作るためにはどうすればよいかを考える必要があり、私にとって次のステップであると感じています。

これからも覚えることは多々ありますが、引き続き知識を蓄えていながら自分の考えを仕事に反映させ、将来では会社を引っ張っていけるよう精進したいと考えています。

エスペック株式会社

モノづくり統括本部 キャビネットグループ 1チーム

大久保 さくら

社会人になって一番変わったと思うことは、すべて自分で考えて判断しなければいけないことだと思います。今までは自分がしなくても誰かがやってくれるから大丈夫と思うことが多かったのですが、社会人は自分がするしかないと感じました。働くことで責任感や判断する力が身についたと思います。



私の会社では環境試験機を製造していて、環境試験器には様々な種類があり、多くの製造工程がありますが、その中で私は製品の加工スケジュールを組む作業をしています。一つの製品に対して種類も多く、知識が必要となるので覚えるのが大変でした。それ以外にも部品の加工データを作成しています。

また、エスペックでは環境試験機を作っているだけではなく環境を守るための取り組みも行っています。様々な環境保全活動を行いSDGsの実現を目標にしています。

私はこれからこの会社で活躍できるようにもっと製品の知識を身につけて自分の業務だけでなくその他の作業にも幅広く挑戦していけたらと思います。

京都薬品工業株式会社

製造部 製剤課 原 紫玲

私は社会人になり配属先が決まると、初めはどんどん進んでいく毎日に、焦る気持ちと不安でいっぱいでした。配属されてからも部品や機械の名前など、分からない事ばかりがありました。



「まずは部品の名前から覚えていこう」「流れを覚えよう」などと、新しいことを学ぶ毎日で、とても新鮮な気持ちでした。質問をしたり、助言をしてもらったりと学んでいく中で、人と人の繋がりの大切さを学ぶことができました。また、自分一人ではできないことも手伝ってもらいやっていくうちに、職場の雰囲気も慣れていくことができました。

私が行っている作業は、薬を形作るとても大切な工程です。『この工程から次の工程へと繋がっていき、必要としている人の元へと届く』社会人になり、人と人の繋がりの大切さを実感することができました。

社会人として、助けてもらうばかりではなく、自分からも人の助けとなるよう頑張ります。

三和ハイドロテック株式会社

製造課 上原 功大

社会人一年目を迎え、日々新たな発見と学びの連続です。入社当初は、仕事内容の多さに戸惑うこともありましたが、先輩方の丁寧な指導のおかげで、少しずつ仕事に慣れてきました。



私の職場は、ポンプの製造販売の会社で、特に、ステンレスのマグネットポンプは、液体を漏らさないポンプとして業界でも注目を集めています。

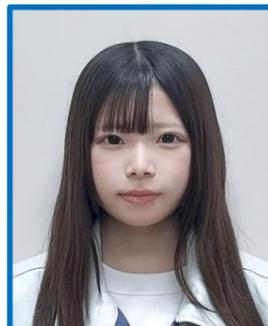
現在私は、製造部に所属しています。主な仕事は、ポンプの組立、試運転業務です。複雑な構造のポンプを、図面を見ながら組立てられた時の達成感、また自分で組立てたポンプが実際に動き出す瞬間は大きな感動を伴います。

将来は、今の経験を活かして世の中に役立つポンプの設計、開発者を目指し、会社に貢献したいと考えています。社会人としての一歩を踏み出し、多くのことを経験することができました。今後も、積極的に学び、成長していきたいと思っています。

日東薬品工業株式会社

製造部 製品課 外賀 美月

高校2年生の夏、地元企業が集まった企業説明会に自主参加した際、日東薬品のお話を聞いて、作業内容も自分に合っているのではないかと感じたこと、また気になる製品があることからインターンシップに参加させて頂きました。そのようなご縁もあり、私は高校卒業後、日東薬品工業に入社することになりました。



実際に入社してから感じたことは、社員同士のコミュニケーションの取り方や仕事に対する考え方がそれぞれで面白いこと。また、色々なことを沢山覚えていくことが大変だと痛感しました。他にも、仕事をしていく上で特に大切だと思ったことは、会社の組織図や人の名前を覚えることです。入社した当時、会社の説明をしてくださった方に「会社の偉い人の名前を覚えておくと、その方へ会った時には良い印象を持ってもらい易くなり、また組織図を頭に入れておくと、連絡先が明確になり、より仕事がし易くなる。」と教えて頂き、それを意識してきました。そして何より、人の名前を覚えるメリットとして、人とのコミュニケーションが取り易くなります。それを大切に、これからも会社の皆さんの教えを仰ぎながら徐々にできることを増やして、会社や社会の役に立てよう、努力していきたいと思っています。

一般社団法人日本血液製剤機構

製剤部 製剤二課 小阪 亮佑

私は大学を卒業後、一般社団法人日本血液製剤機構（以下「JB」と称する）に入社しました。入社後は、分注工程（瓶詰め）に関わる業務に携わっています。



弊機構では、血漿分画製剤の安全性と信頼性を高めることを最優先とし、献血血液による国内自給の達成と安定供給を目指して、みなさまからいただいた善意の献血血液から医薬品である血漿分画製剤を製造しています。

JBに入社して約半年ほどが経過しましたが、社会人になり感じたことは、自分の行動には責任を持たなければならないということです。弊機構で製造している血漿分画製剤は、献血血液を原料としており、善意でいただいた血液を一滴も無駄にはできません。また、患者のみなさまに安心して使用していただけるように製造しなければなりません。そのため、私も血漿分画製剤の製造に携わる一員として、これまで以上に自分の行動には責任を持たなければならないと強く感じました。

まだまだ未熟者ですが、自分の行動に責任を持ち、JBの基本理念である「善意と医療のかけ橋」のもと、人びとの健康に貢献できるよう努力を続けていきたいと思っています。